

ツキノワグマによる人身被害が多発しています！！



県内では、ツキノワグマによる人身事故が多発しています。特に、今年4月17日には県内の過去10年間の各年度で最も早い人身被害が色麻町で発生しました。その後、7月27日、8月14日、8月29日に仙台市内でツキノワグマによる人身被害が相次いで発生していますので、ツキノワグマに遭遇しないよう、なお一層の注意をお願いします。

例年、6月から9月にかけてツキノワグマの目撃情報が多く寄せられます。また、餌の少なくなる8月と9月は子連れのクマや若いオスグマが食べ物を求めて人里に下りてきてくるなど、行動範囲が広がります。

クマとの遭遇を避け、被害を未然に防ぐために、次のことに留意してください。

※画像はフィールドガイド足跡図鑑：日経サイエンス社より借用

○ クマに会わないためにはどうすればいい？

- 1 事前に、県ホームページ等でクマの出没情報を確認しよう！
- 2 自分の存在を知らせるため、クマ鈴やラジオを携帯しよう！
- 3 クマの活動が活発になる朝方と夕方に気をつけよう！
- 4 クマの痕跡を見つけたら、その場から離れよう！
- 5 生ゴミは放置せずに、必ず持ち帰ろう！



※クマの糞塊



※クマの足跡

○ 万が一クマに会ってしまったらどうすればいい？

- 1 クマが遠くにいる場合は、ふざけたりせず、さらに距離を広げて立ち去ろう！
- 2 クマがこちらに興味を持たないように、騒いだり、声をかけたりしないようにしよう！
- 3 クマと距離が近い場合は、後ろにゆっくりと下がって離れよう！背中を向けて走らないこと！
- 4 子グマに出会っても近づかないこと！母グマが近くにいるはずなので、ゆっくりと離れよう！

○ 万が一、クマに襲われたらどうすればいい？

- ・顔や首などの急所を守るため、抵抗せず腹ばいになり、両手で首の後ろをガードします。
- ・ザックやバッグを背負っていれば背中を守るので、荷物はそのままにしておきます。
- ・クマは執拗に攻撃を続けることはないのです、その場から逃げていきます。



問い合わせ先

クマの目撃情報等 : 宮城県環境生活部自然保護課野生生物保護班 (電話: 022-211-2673)

クマの農作物被害等 : 宮城県農政部農山漁村なりわい課中山間振興班 (電話: 022-211-2874)